

事務事業チェックシート

事務事業No 607 事業名 小中学校科学作品等各種作品展開催事業

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	3	小・中学校教育の充実
基本方針	1	子どもたちの豊かな心の育成

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		教育費
	項		教育総務費
	目		教育振興費
	大事業		教育振興事業
事項		小中学校科学作品等各種作品展開催事業	

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	学校教育課	林 素秀 (435-1139)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	児童生徒が参加する作品展の活動を支援し、各教科教育の振興を図る。	優れた作品を展示・公開・発表し、優秀作品には表彰状を贈呈する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		・児童生徒の美術作品の展示 ・児童生徒の音楽活動の成果発表 ・児童生徒の科学作品の展示 ・児童生徒の読書感想文コンクールの開催 ・児童の家庭科作品の展示 ・児童生徒の書道作品の展示	・児童生徒の美術作品の展示 ・児童生徒の音楽活動の成果発表 ・児童生徒の科学作品の展示 ・児童生徒の読書感想文コンクールの開催 ・児童の家庭科作品の展示 ・児童生徒の書道作品の展示	・児童生徒の美術作品の展示 ・児童生徒の音楽活動の成果発表 ・児童生徒の科学作品の展示 ・児童生徒の読書感想文コンクールの開催 ・児童の家庭科作品の展示 ・児童生徒の書道作品の展示	・児童生徒の美術作品の展示 ・児童生徒の音楽活動の成果発表 ・児童生徒の科学作品の展示 ・児童生徒の読書感想文コンクールの開催 ・児童の家庭科作品の展示 ・児童生徒の書道作品の展示	・児童生徒の美術作品の展示 ・児童生徒の音楽活動の成果発表 ・児童生徒の科学作品の展示 ・児童生徒の読書感想文コンクールの開催 ・児童の家庭科作品の展示 ・児童生徒の書道作品の展示

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	953	979	1,048	787	1,048		1,048		1,048		
	伸び率 (%)	-	-	10.0%		0.0%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	1,011	1,089	1,089	3,164	3,164		3,164		3,164	
		非常勤職員										
		小計	1,011	1,089	1,089	3,164	3,164		3,164		3,164	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
一般財源 (税等)	953	979	1,048	787	1,048		1,048		1,048			
所要人数	常勤職員	0.14	0.15	0.15	0.43	0.43		0.43		0.43		
	非常勤職員											
主な予算内訳		印刷製本費 312千円、会場その他借上料 711千円等										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	作品展開催回数 (各作品展)	年度目標値			9	9	9	9	9
		実績値			9	9			
	単位	全体目標値			100.0%	100.0%			
		全体目標達成度							
	年度別達成度	年度目標値							
実績値									
成果指標	作品展参加学校 (園) 数 (延べ数)				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	年度目標値				501	501	501	501	499
		実績値			501	501			
	単位	全体目標値			100.0%	100.0%			
		全体目標達成度							
	年度別達成度	年度目標値							
実績値									

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	子どもの学習成果を発表する場として必要なものであり、子どもが輝き、文化が薫る教育のまちづくりに資する事業である。
「見直し」 「改善」案	より多くの学校に参加を促すとともに、優れた作品をモデルとして示すよう各研究会に依頼する。